番議會を廢止

**爆撃内深に實行摩原は議會解散により削年度像別を踏襲して二** 

の三億一千八百二十八萬

白九十萬圓減額、實質には變化なし

。けんの閣議で決定。

一千八百萬圓

毎川野世局長 小池 勇光 議帯部野世局長を命す

共産 政 膨維時 だやらな報子を従つてゐる、階校

蘇國

境

を縦

里要議題に上す

號として特別議會に提出すること

全鮮知事會議六月九日開催

して高いされる高級職類連選の後、總督、總派の排示の修子を

のる主だ何も知。 のと、彼女は、 しと類ずりし

おかへりなされ てつと眼をこす もう、腕を以 か、うれし

化石 (90) 作

**安見を御覽地** 

畵

あわたとしく、生間房は、かう さないことに、解除にも膨脹いた。 至つて、常服の縁から・嬰へ告げ します)

を懸ふ良人の分

小説牡丹/プ@マ時、砂・鴎

姚續**助太刀代男**。 湛師

文官分聚令第十一條第一重新四號 歌とかいふ 悪名を権行て しまつ 影響のうもに、職がである大城の四郎とか、木鰕の四 の情景はいつからに かれて (一等) 地内 東介 い。彼は、吉水の上人に、その前名 へ行つてどうなつて任外務大官 (一等) 地内 東介 い。彼は、吉水の上人に、その前名 へ行つてどうなつて任外務大官 (一等)

道 高等 歌 長 會議

在小形次官(「鄭) 東京の東京都一種第一種新四號 郡とかい、郷名を保守しまつ 文官分配令第一種第一種新四號 郡とかい、郷名を保守しまつ た使り体職権即位。 もに きかの出版とか、水峡の四 し、 さに きかの上ない。大峡の四

情別。の名をいたさいたのであればる。 といふでをこめた『生

べその烈しい 組云いきれない 良

小部愛言權利:松配

歌女<br />
國定"<br />
職職

講談馬龍幽震

非常時局に處す方針を打合

独案の上なるものは左の知きもの

して知られた局破率主任破疫障がで農師大學解所襲政系の創設率とで農師大學解所襲政系の創設率と

かへりでする。

おすがたは謎の

ほど次きな衝点 級なは誰が上つ

激 聯調學情、翻讲





小説和日の料頭を

小說商討極樂手形。於美古時代文寸極樂手形。

推讃大関を**皆**けて、 倉太郎

小離アペト。直役、版三

**実語孤島。喰野鼠:蓝醬** 

奇談**竹刀丁牛**"若燕

夢念都會: 迦藤



小部**兄妹地**藏: 檀等

が調手務の一枚、理順







て、春のかぜに、 がうごいてゐ

金装路はでの五十銭素が出版を開発した。一名落語、名寫眞、名記事等ギッシリ流版!

5秩定し、これを中堅將校及び地

府立圖書館で故境域子の図鑑の記。てたものと戦明したに協力は増し、九日年後長谷川町」よが、斎に遊戦を纏んで몔段を徐

金栗氏方で囲気を歌歌から鬼啄上、記金氏方に家庭教師をつとめて聖・邢に歌じてぶるな・と含はれた単九日夜意味光化門通り二六意産家。し行く家巡に『振してみたが、前 んには大風があるのだからお削も

**家庭教師の勤め先きで** 

町一一三京城で襲撃生却命限者(一斉を得てゐたが新型期に入り極度を思い出し、

腕を洗してみたとい

し外の四部の正副部長は次の刻く

十日午前零時三十分京城初普町七 んでは 閏却し 築遊して あたのを

八戸を全焼一棟半焼

初音町の火事

官の職を譲つて顧問に追いた山、昨春ロルフ、瀬川兩氏に司令

戦場指揮官は留任)

南甲山郡同仁而警察官駐在所の順を結婚記念に歓迎した人は威

因があつたとの結論に封建し士官に通じなかったところに紛糾の配

心して居たが、結局本營則が下げ

暗い家運に敗け

職場指揮目の本登順幹部と協議を 層とも打合せを行つて解決策に苦

とになり成行を注目された数世軍とになり成行を注目された数世軍 して土官開級の要求を能談するこ 小隊長より成る軍事副査會を召集 死の防止宣傳も含かず、九年度三百町歩の被黙は十年度には 行品の標層から起る森林火事は年々増加して、職僚當局の必

**、乾燥期に入り危険は増大するので十日本府では郷道局顧信の三千九百町歩を 機磁してある、また これから いよ** 

九年に煤煙からの森林火事は

昨年は三千九百町歩突破

と朝鑑が二十四世京南が一世新興線道が十六世記四十一世のと朝鑑が二十四世京南が一世新興線道が十六世記四十二世の紀代にはるに私総に財正方を厳重祭告した。最近八ヶ月間の統計による

開北、思北一帶に膨がり京畿道は

人然阻は現在のところ戚南北、平 **時間をかこまれた 状態にあ** 

標理による森林火事を出してある。

## 質物古蹟記念物に

近く正式に發表される

春になって

口

盛んに出没

を練つてゐたが十八。十九の兩日

近く総督から正式に指定されるこ

原域加速的注解。実験所以一下注土里一四五金光景で、第二名(フェー・ジェー・New Amana Tanahan)である。九日午後十一時京城所外「戸締りの財職を初め条項わらび等」をは、「New Amana Tanahan」にいませ、「New Amana Tanahan」に対していませ、「New Amana Tanahan」にいませ、「New Amana Tanahan」にはいませ、「New Amana Tanahan」にはいませ、「New Amana Tanahan」にはいません。「New Amana Tanahan」にいません。「New Amana Tanahan」にいません。「New Amana Tanahan」にいません。「New Amana Tanahan」には、New Amana Tanahan」にはいません。「New Amana Tanahan」には、New Amana Tanahan」にはいません。「New Amana Tanahan」には、New Amana Tanahan」には、New Amana Tanahan」にはいません。「New Amana Tanahan」には、New Amana Tanahan」にはいません。「New Amana Tanahan」には、New Amana Tanahan」にはいません。「New Amana Tanahan」には、New Amana Tana には無錢飲金等軌道外れのものが きては脱口ー 一步巡んで無軌道的な財網振りと 近領東大門署管内

近城東湖(京城崇仁町)外三、賞物)京城文廟(京域明倫町

**尿畿道主要地で** 春の防犯日

は問里飲食店金融山方で九箇餘の門美母が揃へて本書へ

あすの場所 豫防注射の

一日の勝チフス業所件

食

堂

九兩日に決定

飛デーは、野石和単誠長の手で案 水臓、開味の四ヶ所で計画中の研究は第二十二年大会にはいませた。 れた、平域から急援列車を出して 復識に努め一般利用の連携には支

内容时、些秘町、跨空町、内部 町、建林町、島成町(三崎7× 町、建林町、島成町(三崎7× 1・3以号町(多分線黒部町名 ・1・3以号町(多分線黒部町名 ・1・3以号町(多分線黒部町名

一下のから午後四時記述173.143 本市区 ―― お草町、水標町、 下目、明治町一丁目、変金町 ―― 丁目へ紹介山分稚園 ―― 近木町 「田本研刊」、東四軒町 本行 「田本町 十一日の郁痘は左記の場所で午前

加学酒の喫茶・中・一郎

が、逆とタイアクブして削配各階の数か、に並つて繋行することに決定した。 第日はポスター、虹膜ビラを配布 欧 既が護出動して各片脂に訪問して お客と見せて

へ二名の青年が訪れ雌語共他を注。上一寸位のところに小九日位兵地都曾町種総商市東京万 - 電系アンダーシャッの一人日位兵地都曾町種総商市東京 - 電系アンダーシャッの一人一人 つれの怪しい 手提を强奪す

は手ぐすね引いて歌迎準備を進め | 車が機關車不良のため到着せず深 つたが、関際列車の山鴨不接触は に組織用からの車輛は接触しなか に庭内にあつた手挽金mから収金文、主人が之を辿り出してゐる順

の<u>一</u>覧一个 オ ヂ ラ

ロがあり、心常りの方は本町署

命を粗末

変されて八日夜猫イラスをのんでを友人と飲歩いたので義文から叱

の間で

火の山

极出

東沿

行列中は途中朝韓川譲北三の教列「行勇兵が顕微、韓山関を進行中レル日年後官城に総省した解散總統」十日年制八時十五分城平域總价古 線路に悪戯 機関車乗上ぐ

軍旗祭

フ司令官を罷免 六十銭を防奈場材数に献金金寸でことにし第一四分十七個

救世軍士官の要求

相天の能は武典推復を中止する も護備、診察の結果十日朝にいた この開名は四日に、同五〇七金唱 李山見(た)祇に師四三二世拳旅(

本理を開始には、 近年は、 一門分十二個 大・一直のでは十二日 大・一直のでは、 近年は 一門分十二個 大・一直のでは 一直のでは 一定のでは 一定の

年前十時式典後羅納相撲、紫剣術、銀廿一個東維邦受討。然武興を斃行衛山歩兵卿七十八騎騰では十八日 模様戦その他の個物がある害なほ

群(",)简言O四金於直(",)"、简四

京畿道内にまた五人發生

をとり必死の財疫師とはつてゐる 傷にに ペルメル

の新思淵を出した、親福地は何れ が、十日にいたり道内に題に広る 江海地の寺面城山里で同里

二酸皮質につめ二名は五日に何れ

朝鮮都市問題會議の協議會

直号 京城内省町一二二、

大門語で換金中

る気のま

南国の

乗りの

京城の準備委員部署決る

## 全鮮各地協力し

数値、成然前副委員長の遺形に決に入り、認知部は松井委員長、豊 開設の第五四連備委員會は九日午 入り、濃砂部は松井委は長、張一度野あつた後、正副部長の互選 **幕佐々木、洪浦が蘇が太平町的近。陽新甕塩等を歩き廻りオーバーを削料四犯の曲者、十日朝京城本町。町大製工事塩及び資金町大丁日森** で不数の男を揃へ調べたところび寄佐々木、洪州和城が太平町附近

別取しまはつたことを自供した

はてな 十日時期が回じるの通路で像 に大金庫を競見際品とみて被害者 の由書をまつてゐる

▲ 原裝部 大學史郎(正)李升 (細) ▲ 宣傳部 元 原州(正) 加約一米(刷) ▲ 接待部 田川 第大郎(正) 高星細(正郎)制) 第大郎(正) 高星細(正郎)制)

他につき具備的な協談をとげて午記念ナダル、顔靜塵製態行等の象別録き各部の打合せ前に終り大演

海から訪れる

三百名の観光團

後四時敗頗した オーバ泥棒

別に駐足の京城見物のため期待さ

士二日仁川から入城

(島柏は眞嶌) るあで銭五は船

- 上親が付工服罪でイタリ

ターされたため代つて歐米。今度はどんな旅域でら市中の蹬蹬、工事場でオーバ駅門に隠しまはる繋が戸土蔵録でイタリーに、れるほどの黄金の海も陸らさぬが、「スープ・パリガード

安住商を観覧年後风味を調査し直 答問方に付き相談したところ、嬰 を指付し通貨所外承載の手を終て、2の対から朝鮮はアルで午餐をとり、諸方の普通製技長に不要数分数の られたる製技名道郡名を記せる状態のから朝鮮はアルで午餐をとり、諸方の普通製技長に不要数分数の られたる製技名道郡名を記せる状態のから朝鮮はアルで午餐をとり、諸方の普通製技長に不要数分数の られたる製技名道郡名を記せる状態のから解析に分れて自動用の列を 次整備して来たのに、土地航とは 散んで一高側に関したので直に電人技、二級に分れて自動用の列を 次整備して来たのに、土地航とは 散んで一高側に関したので直に電 局民會は在前回配丁第の教育が高一次限するもの多く、集まりしもの 在満同胞に送る 各學校からの寄贈品

器雑園商とれま包に格島全いしら数まで鮮明 てしる常地電販師ですの局道像が「給油」ない。 の月五らか旬下月三、たつかにとこるれる側重 展下機線館南海東の間山街、山筍は最待されま包に花か赤頂でけかに包上 投ぐ海水。島小の形反西町一だん弾とりかずに上端の米百四約、呼べらか に下側、別域のい場でつ特にアンヤギ」に到頭、に治水海、で後遠なか帰 後の復往場格、長十字分用で中頭自合衆、人用力容取りあめ第56人地内は (原料と海辺)とまなり終日日は

**米朝中のアメリカン・ハムブルグ** 一〇、〇〇〇県)は上海から十二

> 所七戸全焼、二様半焼して同一時 因は温笑残日の不始末から 二十分観火した、腹壁物二千個版 の柳藍書北方の「時、際家及び近、九日西大門客宮原部長に逮捕され 鐵を飲む男

平 東(東の) 量ったり 江原 同右



會葬御禮 \* 親戚友人一

同郎

売らが赤毛染



思南北 国の風 晴れたり 愛ったり

全般天氣豫報

全閣東の風では贈がよ

前(東の無 ると前が味ると前が味る

の新型の特徴

○発き弱いハンドルの角度、震靭ないます。 「大きないの内部であず流によい であれるである。 「大きないの内部で見れてもず流によい で表が楽しめます。 で表が楽しめます。 で表が楽しかます。 で表が楽しか。 で表が楽しか。 で表が楽しか。 で表が楽しか。 で表が楽しか。 で表が楽しか。 であず、 でいるが、 であず、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 でいるが

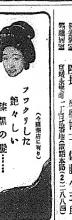
製しコード容器、約八枚のレコー 製しコード容器、約八枚のレコー 製しコード容器、約八枚のレコー 製しコード容器、約八枚のレコー

智能例因















呈送表場相

細

中村耳鼻咽喉 電話本局で三三八七番 電話本局(空)三元七番 里科 そのんだ頭の軽い朝 野崎 电九九三十 人間 崎町 七



內科一般特二 野蟹·加图·猪房 呼吸岛,心體





大根切于等)傳教會、同數技會を大根切于等)傳教官、因及上面を單位と子。
6更半部等、壞合婦人無潛會 6更半部等、壞合婦人無潛會 6更半部等。以、應、織務 6世代人類、一個人主都等軍

情は続き器に留置した を対二時間に亘り別題の後

通川農民組

大恋院を來してゐる

に對し身許調査を資格について調。ことになつた

| 一時間に重り割断の後三名の4| フバが申続の少量だけ数を見せた発験事の手で機能度べを回路し、第公市場には重かに指揮の支那す

**偽醫者横行** 慶南當局取締

ある代診の暴災についても低低性 へ通牒し陸節継帳の完備をはかる

のみで金然人衛品無く一方後顕も

入前蔵で答々高値を示しお張所は「潜の横行にかんがみ道の開業障師でみ」金巻八布品無り、「方道書も【筆山】 駐南道書局では蔵正陶隆

電話は不通電燈まで消ゆ

山極事立師、大西物郷席で開廷和 前は去る六日より元山支配でき

ただし氣温は低く

の降く

のつさくらの開花は遅るのの

見頃は十八日頃

元山既東通川豊臣組合が内の

一味に求刑

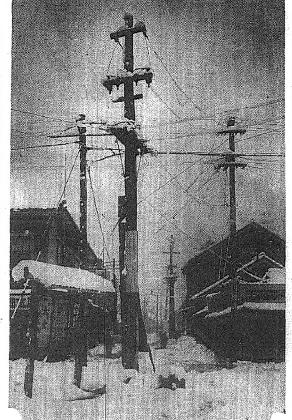
ひ午後に至つて京元戦も復居した して衝縮作業に從事してゐる市內毘藍線は午後三時銀に至り破額し電信は午前十時に壁線の復補によつて京城への凌要官を行生 酸したゝめ整雷機によつて辛うじて各職總者連毫が行はれてゐる、かくて總道、敷便庸、毘京藤郎では各職員を動戦は一種、離に沖塗總欽彰遠京本能に陷つた總道總路は何等支閣なく列職は平常辿り邀行してゐるが充總置内歇財電貢線は全部比較、は軍根總統及と創れたもの別からず、電信は九日午前三時から震蕩、新屬山、深評線が至らじて通するのみで各直連級は、世界に **信線は同明から放線機出し電話線は崇慕以外の市外線全部計劃し市内線二百三十般の連結区能滑所を出した山里方面で、八日夜から 電信電航途電線等にそれらく被害があり電話は雨夜一部移電し九日は鶫力途電も不可能に陥つたこ方電話電八日** 

(制興は確写の街一四月九日永奥柳田門)

電信は八方塞が 野文本は、世生 お魚も不足 右所大忍症に や非に入っては来、薬用蛇臍部に の通り 響葉六六、型割三五、(右角) と破るの年動の発物を特け殊にあり、はあくしたがこの頃で破壊も解析。 大郎1 異郷つときの天使が祟り 緩通したがこの頃で破壊も解析。 大郎2 異胞のときの天使が祟り 緩通したがこの頃で破壊も解析。 大郎3 異郷では方十八元に達した。 二十自通ぎやら八日年即十時から 平前一時域投資人民州都没事の民働を抵抗された。 大郎3 異郷でおけ殊にあり、は大田地方の年初以来の適時登は 一元日年即十時での各地時盤は次、保証を保護を利用している。 大郎3 異様で、 一次のより、 一次のより 行中のところ八日を以つて結節 かあり既然したが戦決言感しは來 ので帝田被事より左の如く求称 大日の語である

金光光、金玉花

中にも中鮮地方が最も多かつた、一年中に比し五茂も低いので機の開



## 大スローガンの下に結成

始興郡指導に拍車

弾の淘冶能に生活政治を本館とす

翻設精神を基礎とする婦人情

が、前記目的を達成するため諸その質機器橋に直通する置であ

するため左の施設を行ふ習の作品を描いしその能職

酷使されて近く

標準の三倍も詰め込み

掃除する間もなく不整頓極まる

身柄を留置

鬼姑の追放を企つ

事項

は五世界を開発します。 ・ 「大々的)宣傳 ・ 「大々のの思報としたかつしたがありらいった。」 「大学版)のといる。 ・ 「大学版)のといる。 ・ 「大学版)のといる。 ・ 「大学版)のといる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のこる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のこる。 ・ 「大学成)のといる。 ・ 「大学成)のとい。 ・ 「大学ので、 ・ 「大学 ちかく檢事局送り

佐伯二郎

さしづめ生活に窮するので

新新聞の下水町修工事場に生産ニーケ弾行機関域と共にこれらん作人。局は左の如く誤る(蔵集)、「日午前八味半蝦威泉池」在三十名内外の小作人を探してを「物することになった右にっき附着 「よう」本年度新報されることに、成といる配質問題が超るので右小し、大師一大師飛行盤は問題の如く、は命の題の土地を報はれればなら なり音々が開き進めてゐるがって、作人達は買収脱を知って第三帝々 のでともあれ野菜の鉄高温にはいて代表者を出し好及び頭質菌にはいい 當局へ救濟を哀願

出し十年度(の出現に履む・目下具體第を練つ「幾の豊行きは鄭豊い状態で先脱大部具は物語(遊説の群化を賦行し、国るい説。」【大郎】管部呼吸は深えチャ受冒

た といばれてあるので吉爾宏麗長は する間もなく感覚一の不敬頼な趣味 する間もなく感覚一の不敬頼な趣

ラデオ受信機 景品の脳當り

▲ 「無終下安場氏(11等配三大 吉川屋り) 終下競失氏(同町 一 七) 非本型 山氏(集製物合代表) ) 能器氏(整面:大七)谷本化 一氏(電調師町大1) ▲ 鏡邊方 延氏(東雲町115〇)以上大名 | ▲ 11 便百十四名

に船渠を酷使してゐる状態である一戦の三倍以上になつてをり、まさ

関う三音子にこよって M.J. Maria の上どうする事も出来ないので、「コールモールルドロールで、「野乳の質器は二百萬曜の貨物が動き橋」てある保護であるが複数配金は、「昭で続みた鉱山政湾局の景配付政

忠州法院支護機等分局へ最初を否

嬰兒死體

をつけさせたため同家は外焼けと を異へ門脇に積んである襲東に穴との子虫配側(ナ)を残つてマッチ

なり職家一様も半焼、間事件は目

山へ帯取りに行き始は職家へ遊び 無し、同月三十日の强皮後、夫は るだらうと思ひつき家に成火を決 のこと、この家を崩き強へば天と

に行った不在中、午後一時頃、先

税關で明朗港化を計畫

週間、死後二十月賦と認められる「代支を指得し釜山治療品の影響を胃足り軽熱に豊めると認识、別人」疑るる智

教員異動

中担重

**風勢のよいサ丸のお客** 

5 し新教養第四次移民の先選目で第一回は昨年五月渡諸里生部別移民はこれで三回東生部別移民はこれで三回 して歴長的単に機動的にウン 金剛川即の間に間に所に収容 と別師したもので置了後衛州 る十八歳から三十六歳までの 照、上宮破穀館間田清安、修 郷駅間東北の三氏に引撃され 窓の園窓別車で敷御船間置に 別の園窓別車で敷御船間置に なほご行は東京所は暗部失用 務省県五次移民棚の北道隊と 後王兆明の日本國民富等學校 个能の個十七名は哈山裏郎 復じ時間水土をけた上で データ月間現地に適し

洲の容にドッと押しかける人 々を消離原頭に吐き出した、 可船サイベリア丸は北郎、海

たせな法被愛の見併逐も多かだから道具報標に入り込むい らうというわけ、既に上壁作 のカー中服に身を削めた史生 の中で人目をひいたのは願い

いなぜな大工さんたちや

満洲めざす青年移民の

千戸の新築があらうとい

い意であった、この、際は都

◆第二月(十七日)正午まで電話 中まで市内研察、開坡電源指数 中まで市内研察、開坡電源指数 長の午監査に個み後記念撮影

部所事物打合留の日産組に設める。

大、七八の百

會には回る無限を持する。

十六日大邱で開く

日程や議案も決定

The same

■文書編纂保存の狀況を繰り度 (登業税制)納入世別害な達申請、報告、短出計等の許式 申請、報告、短出計等の許式 申請、報告、短出計等の許式

又は事故あるときの部會招望方法に就て承知し度▲部長軸企御納したる場合其の缺損的 大邱鄉軍大會

柳軍人五百餘名出版し公館がで 五月九、十の兩日優南北南道の低【大部】總軍大邱支郎大震は来る

知率官房文書保前初を命す(地方課)道脳・小迫 平南辭令

道泰斯) 道圖 長島

(文書祭) 道脇 森 榮光師 依顧発本官

南辭令

3

あ

皆

3

h

ら

は

全鮮商議の

藥庭

they .

經人允

劲 ぢ皮動神婦冷 疾 闁 便 他痛化痛病痛

各地薬店ニアリマス

名古屋市武藤鈍合名會社藥品部

ح れか

8 8 1

7

0

元 氟 お風呂に で ŋ

< らし \$ F

愉

快

VZ

何故よ ハツプは h

一院のうちにボックリミやられる脳盗血も、お婦人につきもので一番苦しむ婦人ち、冷え症でも、命を順めるぢ疾も、生れたのみ拘泥してゐるからで、病のとかけを良いのみ拘泥してゐるからで、病の根幹であるソイル血を消化し、血のメグリを良いのみ拘泥してゐるからで、病の根幹であるからで、持ちな大変で、存日の一浴コソ電に健康の生命に、方の大力を良いた。 一〇ハップは其の主成分が人體の組織内に渗透してホルモンを助成し血液の情環のようが、となな動別付の事實等許少ない。 一〇ハップは其の主成分が人體の組織内に渗透してホルモンを助成し血液の情環のよう、とかも一日僅五年のよう、とかも一日性五年のようと、おいるとは、アイトを強くラクで、赤ちのも念に、アイトを強くラクで、赤ちのと窓により、ルートを表して、ドンナ難治なものも念に、かな家庭が生れ、ドンナ難治なものも念に、なり、お途は、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きな、大きな大きない。 今スグに!

田東るた行空点を借り脂肪類を「で一種能むこともよいのでありまま、それで、自由国では、ディ・ドロ国のであります。とれで成るべく 「人職と好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好したなり」といってあります。それで成るべく 「人職を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般を好」というであります。それで聞いてスーツ」となり起 してよく温まると冷えも無くなり、「一般を好し入れ」を大コップ、「一般ない」というであります。 それでは、「「一年」も別するのであります。 まの外のであります。 まの外のであります。 まの外のであります。 まの外のであります。 ます。 は、「「一年」も別するのであります。 まず、はの外のであります。 まず、は、「「一年」も別するのであります。 まず、は、「「」」ません 「「」」 オ・ドローコでは、「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」 「「」」」 「「」」 「」」 「「」」 「

でありますから、これには腰湯を一どもよろしく

頭痛やのほせに對する最も手近の一難けて可及的果質類を多く食べる。す、

醫學博士

ਣੇ [=

多い



位です。私は、歌の趣様を、自分の仕事や 子供を中心として、作つてゐるのですか、

い配便せた方ならよろしいですが、がつれて短くなりますから、数の撮れますから、少し肥つて見せた。ます、健康かけも撮ず時は、着数 物や、炭色の岩物は、脆が肥つて一着た方が、却つて膿が變せて見る

の側から撮した方か、

○事があります。 一體に無地の者 けて浴るよりも、少しゆつたりと

の物や帯などの配色をして脊髄を消ます時には、肥つた ○ ちへませんと失敗す 人は無理に背髄を置にピツィリつ

より白過ぎない物を選びます、そ

灯近く糸を通せる。

てれが、みすず聲が創立されたので、即つ

一時やめてあました。

づむ物の色の選び方から出意してお飢饉をとる場合の若付ですが先

架海色などは自く撮りますからそ

上手な寫眞の撮り方

一巻にも表を縫ひつく。 報常の業務なれば病みこでる子の枕。 ふやうなものです

の歌をも訴む種、私は、針を持つて

に異夜を覺めるて子は話しかく。

るんだと思いと、寂しくなりますの の計の折れた時、子供の學療に

例めてふる雨の唇

### 柄を下げる 香水を用ひる時

合はむしる温濃な異體の何處から、吹き、それか独の中、それも錯年 いたいもので、良い香水でない塩。確日のしかも肌精神にさつと、と 耐水だけはせいたくに、とさう云 て頂きたいもので、<br />
香水鳴きから やりされないものはありません。 うつしにつけたりする衝霧は正める安香水をブンノ くさせられる似 文度き番水も紫暗にハシカチに打 野暮なつけ方

テルの方がどれたけましだか知れ ばきの時に、一寸こぼれる低に割 どもよろしい。しかしくれた「も 三、再載の螺なそやしたり、よき化粧品の匂いのカク ま気、耳のうしろに一蹶、突進さ 合などは、ベンッに・噴きするた 二、何績なりや療法相同か、湯上りの石鹸の灰かな香りが のそれに「ふきでよろしい

は矢張龍波の前項が不十分の鳥め。節の按摩、蛟は「マッサージ」な「り効果はありません能つて自宅旅 よく『ノボセル』と云ふやうな人、顕而や「ノボセ」を下げるには腹」よく整破鏡伯統法をやりますが除 法は先づ無いのであります

をしてみます。外科学報要は、「一芸、脱鏡の有無に付ては何も申上、「問】 関が太いため恥しい思ひ」にあり、一言にして申上げ幅い 太過ぎる れなら症状の如何により種々の治

若い女は肥胖してるのが當然であ 量の運動を務めれば大部形はよく る、何も恥しい事はない、充分に身 「答」 瀬戸病院長 

虚の巻) 古本三平

によく何や顕動の謎ることがあり

ジーや電影治療などがよいのであ ますが、この場合にも「マッサー す。前ほ顕縮や「ノボセ」と同時、散歩等も勿論とろしいのでありま

適當の運動

なりませら、手術やマッサージ等 冉發するや

八一神會十日(金曜)午後七時に、公て講師華山大瓮老師(京城妙心・た)提照無円編

【間】四十一歳の女、専門器に 蝦州両眺縣がはれてると申され 蝦州両眺縣がはれてると申され 駅社はありませんでせらか、戦 の揺む侵着すと取範するとの事 ですがほんたうでせらか

扁桃腺肥大

西扁桃腺肥大症との二つがありま が原法としては外科的に切除す

御櫃を甲上げ膳りまする。 **可笑く思はれながら。** 

軒町五○西久保方原田)──就ては其方に予が頼みがある、─

るか……申上げます。當人有能く 『然らば四抱へよう。どうちゃこ と二人削噪つて居る、内匠頭は ・ナニ大馬の唇を造すと申され 4 + 4

までに優升町一ノ一五、産幣朝子 日(木曜日)午後一時より三都並出 日(木曜日)午後一時より三都並出 摩莎だより

抱く度く心思るが、テに奉公をい 石殿に建支へなくば内匠其方を召暢のことである、どうぢやナ、明 『多出氏如何だ、御當家へ奉公を **雅兵衛と甲する由、我が先祖の韓** 

なさる思召しはこざらんか、ウム

たる位の長さに着ます。 きつとおこのもますので、また記したが開が下に、丁芘すれく くに いのです。歌舞の時は、帯を高く てして 帯止め はやく純に 留めま | 文盛芸の時に彼を見せようとして 展生分に折らないで、帯巾を七分 と、大疱形がよくなります、作も 五分に折つて、独胸局にしめます の時はその帯の一方だけを関から るのは、脳をいかつて見せていけ

得心の付着お

では、原知の通り、派や駆は黙く方が数をとく見せます、黙は反対 す、着付がすみましたら眺か巻でかくらなければなりません、慰養一般には、やく黙く撮れる者跡の 帯視も出すさない線に変を付けま に腹を埋せて見せます、半角は、腕一つれてゐないかを見て離をよく引 きます、こて値を掲す時はなるペー来で、ちつと立正つたといふ深端。田氏、非日御媛齋を安し書きたれ、合蛇したに依り手討にいたした。 お腹が大きく見えていけません。 へないで、少しずらせます、立つ 腰かける時は、なるべく高い層が ちらの時も、あまりきつちりと揃 胸の形に無理を作られことです、 ないものです、普通の時は帯を て擬す時には丁度そこまで歩いて から見せてはおかしいと思ひます

ほんとうは歸参

不破數者門。

悟道軒圓玉

自然の柔らかさでいゝものです交。個球姿が、ぎらから御、緒に参ら、幽門の名跡を担餓いたして、多田で、前の足光に力を入れて立つと「ば、上は個番も象ねでこざらら、「親てはどうであらら、其方、数右 ○後に注意すべきこと れるやう』 内臓助に連れられて、絶えて久しい、タ、食命に能ひまするで

な解析であると、豊原はよく協力 らふのがよいのです、慰真師と心 ら、住せ切つて安心して関しても をピッメリ合せてとるといふこ 心に川田のある時の 間柄、松崩の人とて内匠頭は待ち 頭を下げてゐる。 兼ねてあられた。 内蔵助は傍らから 数右衛門は双腿に有触派を泛め、『さて只今より敗めて不破敗右衛

一、見なければ何とも申上かれる 「答】

君のもさらかも知れない、若しそ 進が久しく残る事があるから実は 頭をお上げなさい。 アハシ

杯で高麗が出ない。 上げたが、命りの感しさに胸が、さるまいか、さすれば先代象右衛 無る人へ頭を影げて内匠頭を見 『ウム……共方は明石の浪士多田 が、何も御功徳でござる、世を帰 内圧頭も懐しさに脳子派、

所を日々協徐いたしくれるとは寄 き若き郷船と、不思議にも貫殿に 取り下さるまいか、さすれば先代 派なく送り居る、あたら直目美し と位する、基だ御迷惑でござらら 面ざしの似て居る仲敷太郎をお引

11 -8

若さの守り神 色自く 私の

に粧化淡の様纏お

私のマスコット

レーフードは

華人の内蔵助とて、新 ら励め

肩腰のコリ

故に簡便で有効で最も近道です 健康の障害物を除 妙布をお忘れなく 事は常に强健を誇っ **披れやコリや痛み** 許を戴く家庭常備

悉七〇大四京東普提 房藥網 揮邊渡 龍 盆本 一世面觀區布條市京東

君臣の ざいませら

と伽受けをした。其時、内蔵助

子に仕へてはくれまいか

歴兵商政め不破敗右衛門となって



にみ嗜身の人若



本舗•東京•平員皆平商店

は忘れんよ 1-47-4 ホケだつて !家一瓶 料白美の人代近

にり上湯おの様奥



パリと滑らかで カワ 肌がサツ がよる お湯から上つて

に後剃ゲヒの方殿

紳士の身嗜みは つけ心地が に限るデス とてもいい トフト

ナルホドこりや

した映場からは遊に遠く眺れ

ミモザ館への感想

フエエデ歸佛第二回作品

生命の冠

同映画の配役は次の辿り

宗田政雄氏來城



町太橋主日京東 店 語 吉 左 澤 蘇 社會式採 町樓運貨取扱大

ごうも が動かない

早速

血出路胃•血 喀 多過經月●痰 血 個外般一• 血 學



瀬トレンカ1 「宝山の勢士』主「ミモザ舘」において、政然と起つ・アンダル作『宝山の勢士』主 映画作家 ジャウ タ・フエエ テはー『突旋無治』主演高田稔▲帰 シーズンはいより

跡を顧みて

鳴る宮下君に樹する質明な策とはチャンスを興へたのは、力を以て静の如く自に二二と打込ませる

は、由こいと対しまれた。

「は、自こいと対しまれた。

「、自三四は三五のカケッギが正しい。」

「、自三四は三五のカケッギを指し、こかならしめ、更に三七とは報せし

「なならしめ、更に三七とは報せし

「なならしめ、まに三七とは報せし

「なならしめ、まに三七とは報せし

籍いた機様が入り宝布が掘り フナビクチュアの英字が取 族領軸』を認設するが今世 皮師によって 完成した、こ が特殊技術研究淋目向消光

最後の土曜日

たつた一人の女 江の結婚 1

十三次前後大會

三田 門月十一日上り土五旦を特別は別 中本的1919 中本 10日 門月十一日上り土五旦を特別は別 市本的1919 中本 10日 日本 10日 四年 10日 日本 10

先 孫 段 渡邊英夫氏

四段 井上一站氏

次回對局者

**若草映画劇場** 

歌 ポンペイ最後の日本に関す、イスト・B・シュードザック氏

元 运 赚! 村曹名己适洒除饼

(制限時間各八時間)

見士 学完 **白**中評勝

喜伊

4

**胎秘過過下** 麻結多多角 秘習肪酸性

酸班口皮子 便常脂胃慢

弱性 腔 諸內

適應症

オ便

作品は高田珍久し振りの學生製金高田プロの「韓の響き」に次く新 経路「怪」とさらは」 髭よさらば、

十鳥與行支配人

面

- 関 7 子 リ東 吐炎 思炎

影

松竹大戦局影所は恵上その トップ字幕 回作品として近く『家

常

竹座

許

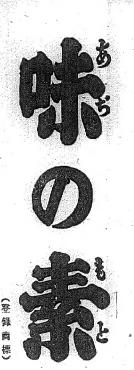
整新

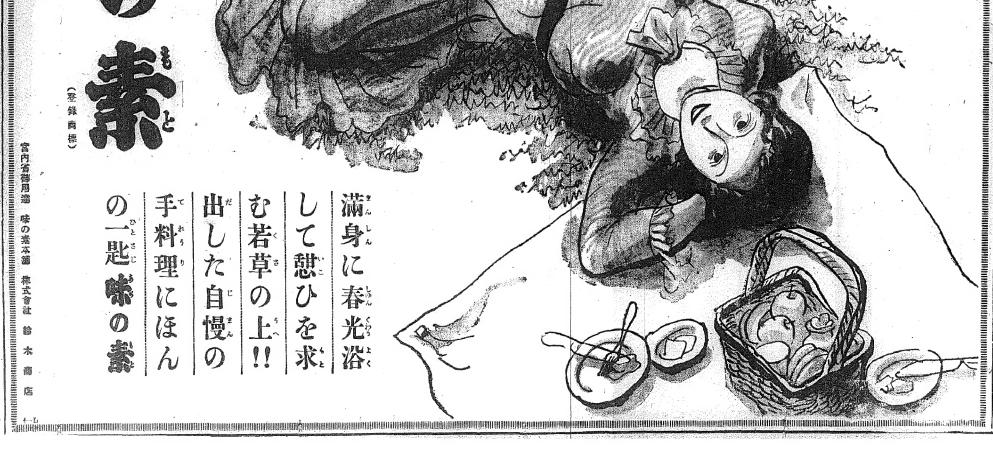
かぬらなに映り

眞の安眠と便通を快し 興奮した神經を顕め 腦の血行を正しく整へ 疲勞と憂鬱を一掃する

考、戦闘力に、名刀の冴えを襲むなら、戦闘力に、名刀の冴えを撃むなら、などのの子を握くし、記憶力を握くし に過ぎないのです。
というです。
というです。
というです。
というです。 が任は危險へ 然し軍軍など、 それは腦神經衰弱の兆候です

つける、





倉額の減少は

困難
ミ
見
ら
る

貯銀協會定時會員總會に於る

瞬極度に狼狽

合機關對策を檢討

合類系能調道部助法中政正法 り線巻さむのや、準点政府は構造 交融外交份長は配割の領域要求に ある反稱派の略類策測を封じ、迅法律条 歴史教育計算中改 監察認定が監察の政策的公安によ 製門的認識が返日重ねられてゐる はにはこの機動を強へ展風しつ、無理教教教院性中政正法律条 歴史の宗正被を展正面より促彰した。恵利北本宗武の四首昭清華教して一秘に置京出が漢句に向ったが、一般道教教教院中政正法律条 「領京十日同盟」外線における文 長級評、無額、敗介剛大長、距離 氏は匿定と謀上げ入日 宮和殿にて乗り参考を見着を日も言う 韓出網織物取締法中改正法律 出組合法中敗正法律案

馬塲藏相の演説要旨

併せて公債政策の個滑な

野村路政解給金 干六萬回を計

各省政務官の

割當原案決定す

首相と政黨出身閣僚ら協議

\あるもの \ 如く今回の學樂解似しれる 共産原政合後の動きは頃るは目が

抗議文再發出

単単 では ばけ ばけ

水井大使

我参加方を要望

「春天十日同盟」離報によれば歌 兵力増加に努む

|「に迎した公宝によると天國政府|| 「昭都を企園する帝國政府の安督公」 「おれが、勝邦代理大使より外来」 製につき同等の規定なく、経験で

る環定であるが、新條約は無的制 は海車省に沙礫し一郷屋職を全 旨を連告して来た、仍て外務省

|個本帝國政府の参加方を坚認し|

東京電話」過度災米師母四方國

問皆は川及郷道ホテル宿泊、十日」子とむし、八百名の

| 端することになつた、多分十二日 | 本村雄文氏(不一高 | 世紀の記込 つたが、海峡龍天のため急に望走 

「東京は語」 陸東では行政機構の 金面低い第二〇十七七大の開閉図書局 の第二〇十七七大大の開閉図書局 の第二〇十七七大大の開閉図書局

・「・こ記がして四月十三日より左| ◆商原役丸男 - 「東京院話』 台灣銀行では日銀利 | 本院資本社を基

二ケ年目にやつと肩の重荷をおろした様だ

間して見たとこ かを一波洋派 のるかを一波洋派 なりつくある▲ で流行の中心と で流行の中心と

心でありと認めたる時は個人から農林、周工服省監督し

嚴重抗議す

ろ本公しくウエルス殴下 (現在)の調散歩服主たはスポーツ 電等調日名の調査送、植匠地は にめ合地側無行の際のスタイル にめ合地側無行の際のスタイルのヴァリエーションがアメリカ 類が触りに でする。 では、 でする。 です。 です。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 手本となってゐ

**歐大・京東 所 藥 製 田 森 社會革合 舖本** 番八四九八京東替振

五二一五三二 定 五一一五三一 定 十十十 面面回线线线

並に低金利政策に入ることを必

本格的に審議

提出するに決した。多つ、三仲の 健衆 一、昭和九年法律第七號中改正法 の総果を「附日に臨城する今井田 後慕を作はざるものにして経際に 一、昭和九年法律第七號中改正法 の総果を「附日に臨城する今井田 健衆

同協議館を行ひ改革案を得ることは特に火曜館より各派に對して共

を提揃したが、その結果十三日午。を本格的に密領することになつた |特に火陸線より各版に對して共、各派交渉機を聞き火壁線から組織。 |東京電話|| 世族院に第に親して||後一時から研究領事が所において

批設立の最後的折衝の | 資産を発生せしめるべく諸股の準 即 況に 贈じてさらに質行準備を徴歩 間拠長は今月米再び東上駆闘の状 は山中次の如く部つた する語である、右に配て田中港長 拓殖 電散立計道はやう ある、しかしこれ 
這は何事も 
話せぬことになつて 
出則ではあり、政府が公表する

(追加投算とも)左の如し (配位 「東京報話」十日の閣談で決定し 下ろしたやうでホッとした一次二ケ年自にやつと肩の風荷を気上再び東上の数定で、計進以 朝鮮總督府

の名の意思を表現している。

「東京電話」十日の服命政節を出いてのは、外面で用名所言にかいてのは、外面で用名所言にかけての限命政節をはない。

ついては實意を汲するに至つたの一見の一致を見た際標で、今後は兩 既法案の職盟提出はこゝに決 るに至つた、しかして右決

製造河東北區におけるソヴェート

法疑惑に騙し十日午後ハル

軍司令官師團長招待午餐會の席上にぬ

**廣田首相の挨拶** 

最善を強ったけ

たが、その除上人要左の如き接渡

全く骨拔き

**米穀、蠶糸、肥料三法案** 議會通過に努力

先 大〇、五〇 先 七二七 紀後期 第

市況 安安安安 るれ賣くよ番一もて店藥のこど

讃用頭 へみ痛 ぬてに

正。肅。來。曹

人。賞 服 歯 なん 痛 く ぬ て に

提出を別に、股立準備を急ぐため網助金及び那級武等襲算の今職額

きのふの閣議で決定

利下に記能するを得ない空気の中 | 峨畑、ラムブ、ガス説、電点、ア

でもての改長に他つて赤い光線は「から微能される光が混合し、黄色外観が起も受けが多い。可認光線、地平線近くの気の色は大きい器医

の信念と影派を缺いてゐたのに

続して資本区の属力

既するに至つた、然るに 野外資の必要のない出

に於ては外面職人は何等金利。 鯱の他なかつた、肝し物の

獨逸の駐進をめぐる國際聯盟

あつた、何故といふに膨脹する

酸相の脱年は劉全肺吸吸液を行き行られる事は否定し得ない、高曲

之を手際ふのに時の國情が政策の 質励に適合してゐて初めて成し途 よいのである、跳頭は窓ずしも

赤外紙、紫外紙があり、スペクト 録、清、藍、紫の可耐光線の外・ の反射で、その波が偏つてゐる蘭(他の太陽は赤外線に富んでゐる。

ルを観示すれば悪酸スペクトル、一の比は夏は一五二に對し冬一四七 **ボンドスペクトルがある** 迎比例して利いてくる 変収スペクトル・距線スペクトル、である。光の遠さは距離の平方に 光線の質としては赤、橙、黄、それには赤外線は大気に吸収され 青年の光は太陽光線が青年に浮したなる

赤外可認案外線の側台の頭タに一

おいても質に於ても白々な形とな 重要なるものであって、その量に ないふのである 自然光線の中で太陽光線は最も、吸収少く青い光線は吸収が多い。 1255、ネオンランブの如きもの「少く、可趣光級はこれに大ぎ、紫」もので遊み切つた紫色であるが、峨煌、ラムブ、ガス感、寛成、7一旦来る。赤外級の名派の吸収部は「る光に細かい酸水から微能された

反射される太陽光線は他自である おいても少いが、冬の太陽は夏の「こう」といっているという。 陽の高三二十度の時は一に對してにという。 ゐるが側陽夕陽は青い方の光線を

十三歳の男が「大直国正」のため

サス タテイの峡 る揚 院にこの程 【カンサスシティ同盟郷信】カン

大食漢現る

〇二二一である。また空の紫外 と、空のは三、九四となるのであ 時、太陽の紫外線の量を一とする 線の強さは太陽の島さが十五世の 重十五四半、碧油の身虚だが稲代

好きな曲目を弾きながら霊柩車にイオリンを顔にあてく、おのおの 置いた、うそみたいな話だが、こ コーヒー十三様 数十人の大宮連が各自一挺のヴァ 洪太利の皇子トラウの大野の時 賑かな葬式

光りも放放します。そして學 ま熱心に、實驗にとりかくつ

は人工太陽とはどんなも

慮なくあくびをし、この途中でガー時にはもう終つてゐる。これが日 いるくな不備な脳を記止する事 えてしまふ、折角、安田でのもの が出来、もしその謎がいゝものな

自分達の藝術がどのやうな反響しらまいと云つても、又廣夜のシス テムとしては歌舞伎や新歌の連中 は此處ではふれないをして、耶實 そくりかへされる、内容について

瓦斯及び電 氣鎔接 苗 日の出 東京、惣町、丸の内、海上ビル啓(啓明曾六十四回講演集)二十錢 糖業量を語る 建築に現れた る日本精神

結びついてみる事である。作家の ての他びは回転が如何なる場合に かあつちにもこの

たばこ」をすつたらー?

ツーリスト

(四月

込次第進星

常に著しくなるためではないかと のだが、その脱因は月光の億光に「の間の本當の窓から来る動い光で 、ある、この光線の本盤は二つある

**仏金利政策** 

行、そして銀行預金の利下 の利下げに置く五分利金の

斯くて野島は路管安に乗じて急

信を行び宿望たる統制起席、増配の日よりもある紙の宝のある日の合は新庭祖は就任早とより賦平所、消責金色等組々の色となる。快暗

るが、朝日で夕日を受けると、赤

の光量は太陽の光の量の三十七萬

西洋の語に『月のよく順つた年は

月の光線の量に就いては、満月

月、其他の時は層光の量を減少する。
即ち年月の時は最も完全に僵光し
のの角度に見るときは傷光である。

月の光は反射光であるから適當

と測定されてゐる。平均四十六萬一それは長い年月の經驗から鴨つた「

級だけでなく多量の紫外線をも含皮射される光は特に強く、可耐光 方が光融の量が多い。入道霊から 題りが今日二分半からみであると「が培かはれてゐた、高質範圍は唱」ゐる。[[紀の程度は大空體が一樣] て、そのスペクトルは太陽のスペ

新たっていません。「我」でなく輸出國に一般した以上何故。馬豊東の方式がを行ふのに適応し、 関し昨年は出避すら示叛した。我」でなく輸出國に一般した以上何故。馬豊東都の方式を行ふのに適応し

夜光とは明れた夜の、壁と壁とし、色は緑色である

時になれません。 関は正義を重ん になつた等と概念やらなへんな領 郷宅した時には、不似合に家が大 やうに、この事物で日本は世界的 際作家の三好十郎クン、この前 くるそのために、脳出者

回等の質量の原に自分の像が夜泣 てゐたところ、この選、近くの高 あとすざりするといふのでクサつ たのではないかと門札を見直しに つの芝居を次第に完成さ

を描ろかせるに光分でありま ほもおなじ、法命に陥りは げさな學説は、世界の科學者 た。ある人は、人工館 は多いべきではないだららかり 慢の間のラネソスカヤ夫 とも經濟的理由等から不可能で 交直くさま連續的上級を試みる 多くの出しものをごうしたシス ムでやる場合、舞台装造のスト

東病治療に一日三粒 健康增進に一日三粒 健康增進に一日一粒 健康增進に一日一粒 健康增進に一日一粒 では全身の細胞を で向上する。正に 一劑にして治療 で向上する。正に で向上する。正に で向上する。正に で向上する。正に で向上する。正に で向上する。正に ではない。 ではない。

いのである 製造的性格の指摘ということ

(五十銭、栗京牛込、矢水町、新川の川町の手脂園原製人事件など 村の川町の手脂園原製人事件など 新大臣カメラ見参麗、粉陽秘語打 新大臣カメラ見参麗、粉陽秘語打 現代海運論

徽體 本表元硬<sup>整</sup>炎 毒質症弱進化

及店藥名有國全 りあに店貨百各

二十八四國八十五錢

超 アルファ +

アルス 築品 部 銀票を開発を開発を表現します。

含 粒は幅五寸 五百倍 量屋

A・Dを保有するが故に用 量の沃度を含有し、消化吸收 量の沃度を含有し、消化吸收 量を提高なるヴィタミン 長さ五尺の昆布

行の方向を含む平面内に碾られて 四時頃からは、太陽が難いて太陽、ら脳だよく皮材し、赤外線に到しならとである。それで習過年後の一に對しては、完全に説明であるか 面偏光とは光波の振動の方向が起 から直接來る紫外線の過ごは、空 つても、その割合に渡らないといって、氷の結晶は可砂光観と紫外観 元銀は太陽から直送来るものが減 青空の光は平面偏光である。 平 紫外線またはこれに近い背色 計の光を含んでみるかも知れたい なく明るい。恋の日の空の光は、徐 ては少し吸収があるから、いくら

『燠あ、もしもの時には古本屋を相手もおう~~と不安な顔をする

なれば一緒に良々と聞くなる

る。實際調べて見ると赤外線から 部一様に反射することは明かであ

無難しての「後期け削」「瞬間化の個利」 ・ 日話、新典の各映議館此を向ふに、 ・ れに深をよくし、その上に松竹、

と、聲まで小さい

『侯たちあ、これから一體とうな 編載者をつかまへて な顔をしてやつてきた島木酘作者 の事件の最中に、文學界地へ著白 「東京を膨胀させた一週間」の例

干値也をあげた新島園園では、そ

「夜明け削」を上演して純利益一

雲は白いから、受けた光線を全

春のゴシップ

◇勝向正義の使ひ分け◇

理化學研究所 理學士 二神哲五郎

んだ選択のために敗乱された

月の光は太陽の光の反射であつ こだ。とたん、国際文化養異難よりやの 即だ」とすこい流域をあげたものを明け 坦 一 概要就たもは、「おかたものを明け 坦 一 無要敬したりは、「おかたものを明け 坦 と頻繁が入り、當分優影の見込み、島水君むつとなつて「その明論化センジと長つな!」「『また映向ですか』といふ言葉に 『その映画化ちょっと待つた!』

世間をあつといはせた 聖者が、突然奇妙な計 八工太陽とは

**ょつ** (リウムとなります。へ

が出来ると云つたのです。 にいかるまでも、かつてはそ それからまた、宇宙間にお トの電池によつて太陽の熱源との理由から、一千萬州ル

それは、一干高ポルトの直あつとおどろかせました。

とが出来るといつたのです。 規模ながら、太陽をつくるこ 施電気を含むひる時は小さい

ものがそれが次第にかはつて れが水薬の賦すでなつてゐた 十なはら、傾い原子を重い

な計画が地球上にあらばれる

一週間の中元と毎日番組みが疑る 見れば、日曜日に「吼んの支那」 メイエルホリド戦場を例にとつて

るといふシステムはとつてない。 膨をうち、次の日は外のものをや をみると、今月は黒臣師なら思臣 ソゼエートの原場のプログラム をやれば火曜日はオストロフスキ

(水)

原(だ)(よ)(り)

心にその場所等について道山林歌

置いて記念情酷、質がき等を行ふの配牒を仰ぎ駆大な式典を懸行し

慶南北邑財 務主任會議

機措面を各党中であるが、直に袖(を散映され、四季を進じてヶ花の機構面を各党中であるが、直に袖(を設していに選ぎ書)る表、紅葉、つゝじの保護や均能は4条の連続暗説で花がしたこと(限につき弱くするなほ駐に監従す

【仁川】名勝月尾島の松林の一部「臨神県核州近に移し一般避麼者の

縮線期成會

安東浦項接

和風|短衛衛門、整隊 [松奘]

り水同公立智速学能機組合では十八

闡獎課業副省林農

製/手軍

刑器代官を開催組合単布所に於て

勝組合では十

で開催

程軍馬加五部支 胡瑞西水阳阳 道總へ與情

の講真資を開催という。

花卉の増植を計畫

早速補植の對策と

は過貨、監林局長以下各関第方面

位東正大砂が工事起工式は期日

\*主要二十萬間十ヶ年後段 る道大な記憶に基く全部 の大砂

ため、月下卒業生から影響を集め

自器を永久に聖故に保存が急する

くといる美風を真似て全卒業生の 別念のためネームを組み込んでゆ

【仁川】稚蜆小螺紋では美國のイ

トン公學校の卒業生が机や聴に

に概が、低校生に卒業生の而跡をてゐるが、これを名札にして職館 しのばせることにした

高牙で盛大に擧行

して愈よ昨年その緒に登い「防工事の起工式であるので、當日

原図の新領社を設立することにな

れんとするに至った

証を合同せしめ 資本金 百五十 一部をも含めて思南全般に伸眠さ

卒業生の自署

新窓前無源長が頭腦の密 整、の八ヶ色で消離光線に続き数。三頭連が雪を左右に托し委員連を

し九日までに確か三千部国とか翻絡が山側内地人は別當一英国に対

「釜山」新任の銀磁型番部司令官、が遡遊に出てゐるが、難色あるも

他の音楽作状況は単書と東西によ

軍威等の各郡と呼順して突敗に悪

【清州】 思北道内に於ける昨秋播 | 路別成館に倣ひ安県 - 薩城 - 密路

▲金成權氏(慶北産業部長)八日 本村大邱府務監督局建定課長十 日午後七時四十五分務列車宣春 日午後七時四十五分務列車宣春

忠北道の對策成る

決上の脚急對策をして甘藷の代作

動することしなり、見下は

租帳小校で

永久に保存

井上中將釜山へ

た、これは第一次の合同であつ

洛東江の大砂防

下心に同一資本系統に置する子澤 同の前提で南通鮮電気質性の暗観

京畿道にまで翼を伸ばす南鮮電氣

で新會社設立

引續き第二次合同を計畫

**徴につき査定中一方鮮人側の密射** 延販に削速して選ぶべく地優の許

解節委員に於て変渉することにな

たが、層では膨脹地をなるべく

既心に訴へ知志の容的を仰ぐべくと同時に難行する害であつたが九一 つてゐるのでこの際所有地生の戦。馬山中學校開校式は十十日始梁式

この上なき喜び 今後も擴充に努力

> その反面、単常と観察で不作をは十餘名の風者が出たので、健康都 を加して確認連路をなしてゐる、ことに決定した。昨年は常内に二

【清州】杣山郡管坪面管坪里里は

河鄉/海河

恩間道路も報恩那内北面駐在町町り耐民の注意を喚起してあるが、 濫して中馬の交通中継し海州、報 では必死の財漫陣を布くことにた 思州間道路も内秀手前の河川が祀、際にも思言が超生したので仁川思

が同様に強したため燃金成像を担日屋で眺度を一層に施行する

観的観測を著しく終刊された形で「魔々に全力を注しである(括風内「織用重以来、地山、殿川方面へ道」書きれてゐた整作には大助りで訳。 南雅殿を月間すた川では、「防天然」一窓村に過ぎなかつたが朝鶴忠北「

の物産が製設する等地理的に裏まする交通の原地をなし間方面から

合英は經濟館 消防組 米難問組合 称所、駝花町、聰花町、聰佐町、頭便町、煙草耕作組 れて急機な膨脹を遂げ、面準

三、高居居市東地關係各都民の は本道の中部地帯安通經濟の個 鬼地交通は窓にの日を迎へて宇野防弄は次の 類待した機能の変数上軍及新寶 は開華六十五ミの日を迎へて宇野防弄は次の 馬山を繋ぐ中央側で下立とは蔵 用をたざず九日屋の中の野川での地がしたなっ 馬山を繋ぐ中央側で下すの使工 尺の地水となった。

尺の増水となつて各複船場は至く は思北道内全版に燃がり無州地方 相五年四月の九三、七ミリに次ぐ (年來の記録であるが、この大雨 解氷期における顔景としては昭 間の總明世は七四、七ミリ

作内各地に選生、職族京城、沿華 「LL川」春を観測にする天然屋が

仁川の種痘

港の埋象に亜で大工事で出來形二里一合に及び参山鎮、赤崎南十四間道路一里一合門港排水溝十四間道路一里一合門港排水溝千二百四十七坪融岸延長九百九

中央埋築面置大萬七

つ午前十時から模様の竣工式

処をあげ終つで午後一

屋内で盛大な合同祝賀館が の削途を配摘した、脚工部

一年振りで河川は氾濫し

中、同此から影響の果ないもの又 は第一回領収商が本址から倒岩し

ものはこの医子無而項署に申

「宝山」府教育第二部館では数日

一年世部豊富寡を審顧の際、四日も正午から引続き所願

北支視察團

廿五日出發

衛生映畵班

は保罪多数ある見込みで取調べ

各地に交通禍續出

一名使人し家人に長さ一尺匹の「窓音氏の世界が整く家人を駆止し」二日銀行することになった以方へ九日午前二時半衛登画の「ないと殺すと妻女切を聴べたが、」[1878] 清阴組帯型(監計・現場) 市内南湖町維鉱画館部業「水伽を突きつけて出金を追り贈じ」 - 統一答の 泊げり債羽

統營の消防演習

兇器を捨て、逃走

浦項に覆面强盗 老母の見幕に恐れ

### てたく竣成 多望の前途を祝福して きのふ盛大なる祝賀會を開く

## 港頭全く面目を一新

過する意向である。また近く全女

安のため月配島の花見など一いる新しい言詞が掛げられてゐる

ので市民は何をするのかと疑惑の

脱縦極めてよく丁場でも大いに

得て既敬育女工を中堅女工と

相に動かせ前途をも明え後

忠北地方の豪雨

質を削削。 四日から五月一日まで場合 【清州】道教管貞映詣班は來る十

教育映畵班

【LIII】東洋紡能仁川で狙では、 れてゐる民風改善に歩調を合せ るが、題に通勤な工にも及ぼ ことになり、まつ四十人を選技 各同様の個易数官を同婚した年期十時から午後三時半まで 育を加し像で總督府で力能を を跳し休養時間を利用して間で出り、

### 商事會社 券を月賦で販賣

などが昏獣の第一般に立ち、勢介しける家などが多かつた 【山川】春を開場にする十日の南

慶北の金組 を脱張することになった

公設市場

**呼吸七市場三月中の関上げは合地** るが、登楽成戦は大観子闘を辿り 下可能がする所の高州町市場をも「幸山」所の公配小野市場は五月 つて大畳が内小笠市場の完成をみ

釜山の賣上

地方態長順に砂騒内弥平長を祈師地方態長順に砂騒内弥平長を祈師

便多きため間山下から六、七町沿部は八崎山下なる奥地で却つて不

等は同面の中央

別

对入湯:t₫! 是期87

<u>6</u>

本と雑誌

た尺山里は荷州美江線道路にも

経済と家族的で

大四十二年度で完了する五ヶ

つてゐるが、これらを一丸として「市場の限位である を促した結果地震一萬八千八十組 和して右地響連動に附近して相互 に比し質に六萬二千七百國の著增 名を包握するに至り順調に進行し 政の三割四分割十四萬九千八百餘

問題を行ったが馬山福単南分館では 関系で行ったが馬山福単南分館では

的新葉開業

泉

[馬出]八十國際管內四山路道營

高級係が 海門表アパート 無主者橋基次理 能できる関策

馬山で實施

鐵道警備演習

目錄進呈

村崎分館長の指揮の下に二十五名

忠北勞動者

遠征軍出發

州六萬四千八百國に選し削年同月 頭に本面市場、登山頭市場、

一張くしてゐるが、唯、劉帝觀點と、直開時間、希見消防退貳、大預期然、小都市をなし至く今昔の經との監記の聲が届まつて來方が、陽

等の戦闘権はり商政引も版器で死の識が持ち上り、最近いより

浦項署で發き出す

加員採用の保證金で 詐欺

しては野血型技あるのみで年を増一便断長、西村紫梁解長等有法はこ

### 行惱みの公會堂 舊郡廳舎を卿軍営館に充て

関立地町金米(\*\*\*)に生成を歴 飲る年々三十名以上を築するので、脳し職々陳修して引るけた。 でを既けに説をがて、八日他成を の腕になきため清州小原校に近山、際に以ぶを破ぶの上、侍郎小原校にならため清州小原校に河山、際に以ぶを破ぶの上、侍郎小原校によくるたがその脳でも関で内 即する尺増入于第の釈釈上、何号 の貯蔵を代表して九日午前黒北道限さみてるたがその脳でも関で内 即する尺増入于第の釈釈上、何号 の貯蔵を代表して九日午前黒北道限さみてるたがその脳でも関で内

學級增設難で

判策を練

釜山府第二教育部會

道當局の反對で惱む

がて有質整であるとの一部有志場。 ため乗り出すことになり趣情中で があるさなく言葉保存の意味に「下っから数地路に衛生思想財務の れてゐたがその後間木蝦取分割長」ある出により智気の問題が決を期待される。 用で間に合はす

| おで三十五名、柳山都で四十名、| 郡で三十五名、柳山都で四十名、|

離列車で本府保国に引撃さがあり九日午後零時卅八分

について御不都の版は欠がで訴しくお敬へ致します。どう部の選になく然がの男本業をお試めし下さい、お芋等にのよく然がの男本業をお試めし下さい、お芋等に強してあるか?…お迷びのことと思ひます。どう

コシケ・婦人病には

仲がよくなる名薬子質に惠まれ夫婦

大邱寫友會

般公部常に提供するとで削くも五月末までには終工し 「大郎」為友質では八日年後七、時

部監敷州一路、智査の結果左記の一 干から東室町鈴木以方で月例臨を 別個したが出席者は廿名で持落出

時列車で移住地に送られることと

民四十一月二百五

秘密で安全な療法

【大町】鹽北の等働、農業雨を民

日曜は左記の通り決定、各部

北鮮行移民

支証院が経験は五石願長以下十六「釜山」限から衛生が続の神及を「釜山」商工前部所で新城した北 慶北を巡回

闷山中學校

舊馬山側出し凝り

府外の篤志に俟つ

釜山府立學校 豫算執行協議

数支郷と自計出的につき打合せを 學校長を指集して各學校の所要經 【幸山】本年度の豫章派行に開 田府では八日午後、時から府内

後二時から所愿で委員會を聞き中一志家に言思を披配して難観を切り

馬山」中學校期成館では八日午 一般地質牧に馴し幽識の結果、

のは翌年を打切り府外内地人の風

|有他一英一王能罪の二十年とな|

三笠保存會 映畫會



進羅無

常をしても強力を対か松東の使 婦人は曹朝田でさい。 はっとう 一シケ子宮祠に特殊が科的作用。 即で伏をせられた方が神域のタッケ子宮祠に特殊が科的作用。 即で伏をせられた方が神域のタ 一試樂進量は本樂が元祖

を使っています。 ・前屋の高がをしたできなった。 ・前屋の高がをしたできなった。 ・前屋の元組となったのであります。 初めてのお方にはいお十一本の五字数で個れてのお方にはいお十一本の五字数で個れてくれば単ないとますから辰地目数でした。 なく無代地量いたしますから辰地目数ではたとっガキで申込んで下さい。

本鍋 李曲 「宮 内 善 進 堂 大阪市東區層久寶寺町堺暗

本館へ註文あれでも類似薬は駄目ですから他の店へ、文はでも類似薬は駄目ですから他の店へ、文は、発見な全額の薬店にて販資す、品切れの際

動

として戦高要許部の加原大的が来として戦高要許部の加原大的が来

高州で巡戯書 Le映画會を開催。 高州で巡戯書 Le映画會を開催。

了專屬製造家募集 十つ交い

たもので、この概認質所到南洲国

たため例年より二十日も遊く五月「民間流復量は國有林の拂下六十五」【文山】例年四,五の閉月には山一 かける復催しは今年は解氷が遅れ 【新羅州】國境に景気の芽を吹き のろい景氣の芽 今年は廿日も遅延 後に多性を極めてゐるが、今年の 初加となる見込みで目下山兀は編

は鴨球江を挟んで解戦の避難日を一間進出が嬰ヤされてゐる って『駆賊の盗動を困難ならし いるとともに、一層正常態態の際。當局の政治的近衛による階級的共 Pに宝つた、即もこの緊急施設に 上紀二義備電話の新設が要望され 側では眼眩の眩暈間であり貼しで顕光しようと無限に識がる背後 べき緊急施設として朝鮮側で 、中であるが、先づ第一番に若 目下鴨雄江の平和化について **順人員の増加と武器の憲元、** 

して一切の對應職はいかに姻辞側

九月十日に決定し 府民總立して祝ふ

期別方を斬んだが<br />
器時地下は三尺

少年育英含生る

これ心の能れを然やして巨斑の波、十名を魅了見込みで、那點の実作「寒霧」後しい半と難聴な緩動に、切の十五日までには後に百じ、三

ず同里全集に金一旦で共一勢地にが無層の悪しさから何等手割もせ

15番巻)大吉里駐在那選摩邨中 | 開城」府では整洲組合の沿世に「統治省町総代、官民有志ら線まりた整瀬として国境整備所に歴史的「より大手町人遊館館の西隣に人器「終備単項を開議した結果、使日を大革新の必要に迫られるに至つた「神祠が建立されたのを修廊に本年 | 九月十日に決定した。在は同僚戦か、革命が必要に迫られるに至った。 **電影説長をはじめ観ぎが敞町誾一行することに作うたので、人藝鵬・動謡所の兆嗣王郎で、履酈・歌賢生書記部では古川豊彩語史、好)度から半中行事として人藝泉を継)は藤楽里舎、人藝開楽里舎、西江** かつたため断記温所に追奪したも

春川」現が翌の今年度登また副 の營業税 五分五厘增加

佐館は五千三百八十九圓(納意人)歳の少年が或は絹州から或は鮮内

殿の越索を終へて八日来城、職々「仁川、元山、利戦」城軍が駆けら越路位展游、木村常務は元山、利「力なる候補地として目下のところ 城連】日本島間要風工業株式質 総分の使命を置びてをりこれが有 候補地を下檢分 日本重工業専務ら 兀山城津等を視察

期成會を組織して猛運動

教育拠元制造が完了して第二層制登であったが、本層の第一層初等 使かに 乙世の 農薬學技が 一校ある 酸の教育機関は初季型技を除けば の教育機関は初等模式を除けば、名七日公園堂で都足大園を開いた。工程】東海岸の歴史地である江一て先づ歴史の郷金で郷史大園を開いた。 目的の貫徹を誓ふ

元

農共勵組合

は登底で配大た軍航海舞式を懸行十四職隊の軍航票登日、守備隊で の除興を超すべく準備中し、各階層が参加して業人演奏的

### 匪賊挾撃の新戦 共同作戦の下に これなくして掃蕩の策なしとし 併行的警備擴充な要望 断場を傾明、犯人は一段商里五七 「北青」既報一色東門外的近に牛 八季時明(假台)の実施氏できで 十尺緒と見られてある。 | 火防止につき組々思議を交す| | 火防止につき組々思議を交す| **風尺線、合配七十五面尺縮でこの「映料整線器では今回山林領山の代島尺緒、建有林と昨年の歴材的十一次再が翻載しその被影響を注意み** 無智の罪 山火事防止 北青を騒がす 坡州郡で力瘤 人妻の死産見 た、これは最も弱く同様を納める便か五分五垣の地加に過ぎなかつ 巻川邑内土木副賞衆省の楽館不振 動員で南山を敷に補職を費施すべ一四月十二日並月本學生聯盟策闘会る十九日を補職日と定め、富民總(開城)品館茂年館では同龢内で「下層「第4月・1877年」 は一温固を修養、衛生、奉仕、向 一茂山 監林署及び部設置では来 上等の各日に分けてある 形に就くのが日源となつてをりな 局語類、暗誦の誤脳を維げて十時一だけが五名であつたのを内鮮人十 歌州の生活を送るもので即も領は 日語記帳及び修證があり最後に鬼 世事に追けるな仕事を追へ」をモ 質料で夜は七時から作業、訓話 ら一時間所内の美化作業、整間 語操、釧隊歌合唱を行ひ、六時時半起床後州分間島居造拜、國 **黎川)殿市学人の指導機職とし」と戦闘中、たほ町年間山麓に秘理家門)殿市学人の指導機職とし」と戦闘を父兄、生造の手で感大に入所護職等七十名中から四十名。の戦職を父兄、生造の手で感大に保護し来ら十三日入所或を襲行。行ふ**派 トーに個に向上、窓に努力、夕に のが同所で訓練を受ける婦人は 茂山の植樹

氏子調代及び委員の融合は七日夜

短周おきに一本の別で来るこ

羅南神仙氏

道改修数の二十二百圓が含まれて

ゐる、なほ雕上衛來體代は內地人 六個を決定したがこの内には改語

**海かわたる四壌** 

富山市主催の日満産業博で

ホームスパン質演

のほこ

教義州署長等の肝煎りで 灯火揭

いる特殊な地理的機能から新義州 者教所のためにこんど新義州圏に は身寄りのない十歳から十七、八 「少年背英舎」が設立されること ので長谷川司法主任は近く初音町 く更生含が生れるのを待つてゐるンと一千五百圓を浴頭、一日も早 年数四策を開いた聖氏の如きはボー して選生してやらうと考へたのが 犯罪者があるのでこれをなんとか 現在百七名の香邊の無い少年もつて迎へられてゐる 至ったがその質地類は六月の開社は岩と徹足能のものと見られるに 形げんとするもので多大の期待を 【威興】朝鮮台記威勇支店の設置

測電を行つたが聞くところによる。れそれらの比較調査を行つたもの ど一人則の木工 技術者として 自 の木工技術を数へて駐倒的にも発 十名内外であるが貯圾は木工部も りの機能五台を入れ郷、門標、 附近に南英舎を外説、最初は鵬造 とになった、最初の入會人战は三 前を傳授して賭い身份りのない少 と少年にふさはしい職業技 定時間的後と想像されてゐる

15

と城津、躍進

域山」の研進後り…及關支害の調 なんと前年同期の二倍以上 三月中の貿易二百萬圓突破

と今回の來北は『鬼談巡院補地下』と見られてゐる

江陵に商業學校

配司三百三萬一干一百八十四個と回▲権へ一一九六六九回 九十九萬千四百四十八回に對し |倍以上の大母週である 記録的な数字を示し則年問期 惠山守備隊 物質神経限験となり目下駆に一部。五月中辺以後の見込みい歌伝の自家用トラック一部では、れに當ることに決定し の治療計画を樹て聡可用語中であ

【悪山蘇】來る十九日肚除成與七

金元 世

のる金術夏氏の呼追加氏さ

ン整祭帰副長・六日

街の緑化 ル日少年、少女の懸賞置話大「定であるが追々他の軽級監路もほり至三回全離力技大會、四月 日第三回全離力技大會、四月 十日ころから極端に取りかゝる豫 帰盟軍の卓球動抗試合、四月

の厚さ 鴨緑江の水 二米五十糎 語の資を能すことゝなつた 語の資を能すことゝなつた 塚では金製集中の記念艦三宝除仔 ▲福津同二十日▲雷軍同十二日▲最別同十七日▲羅軍同十九日

四十名を選拔して

十三日入所式舉行

線と戦便間間の目状き通りから着線をもあるので先づ玄鵬道路である 各當局と協力し野、ボブラ等を計造してゐたが愈よ近く郡、警一 の配りが江岸各所で結氷の深度調の配りに、一、」窓山鉱土木音風ではこ 冬の厳黙を勧誘ってゐる 呼さは! 米五〇で昭和六年の一米 直を行ったがそれによれば今年の 三〇にはべると一米二〇を取く今

街路に加る現在の殺風景な市町に 風気を添へるととなった。砂数脳

「重要」目ではかねて市場の緑化

二、笠保存會

同けじと志劇者の大津に職參する。楽像表が六人に一人とあつて正に んがおし寄せ、整彩質の娘さんも、既試献を行つて機用する部で機耐 信という就被させ、生料を持ちの娘さん。 既試献を行つて機用する部で機耐 尚等) 松本意義 (衛生)



本入 (據 前 用) 九八本入 (據 前 用) 九八本入 (據 前 用) 九八本文字里、子文撰写用 (五) ·本入 (男子歷並及贈用) 英米佛製法專賣特許 カパーサ 〇円七五 11世00

本入 (用于提往尚集用) **天祉人、病院用あり**) FI 同 OOE OME

H **(611** 

症

犯す毎に、尿道粘膜の側面に潜伏せる淋菌は、ことに生活森上り初夏への時候の變り目、或は飲酒其他の不議生を の、及び既に再發せる患者に對しては、速かにウラルゴール る苦痛を患者に與ふるが通例なり。故に再發の兆候あるも 力を復活し、再び繁殖して旺盛となり、感染當初に劣らさ の短管十本入或は中管十本入を使用して再發を防止せよー

性の 新 法

1 三名に改め左の諸氏が選出された。 野口正天郎、神工真策、迫吉次郎、金定縣、宿垣四郎、佐山政郎、佐山政

在正成、小野郎、全聚和、米原石正成、小野郎、全聚和、米原石正成、小野郎、全聚和、米原

高院青年會活躍

名産ホームスパンの製縦質減を記し部川で場の最完成数出で来る中へ 一選に何人でも等支ない仮列を当産ホームスパンの製縦質減を記し部川で場の最完成数出で来る中へ 一選に何人でも等支ない仮列

日井野心寺に引奉されて福路を出 組みで一家四人揃つて発許を受け

「夏瓊」清山市の月南産業院に威北「見事選択の繁冠を得たが四線ともと語ってあるが、この連盟発表

玉(".)、申세風("」)、金萬麗(で) せる明れの総上は即當局で歪衝中

申信限し、金典選して

織婦の志願洪水

警官の奥さんまで

馳せ参ずる賑はひ

つつある。故に内服薬、或は洗滌、注入、注射薬等にて此面にあるにあらずして、尿道粘膜の側管を蠶食し、潜在し しかるにウラルゴールは敷ケ月、或は敷年、十敷年にわた の慢性淋疾を根本的に全治するは極めて至難の業である。 慢性症に移行したのである。この慢性淋菌は尿道粘膜の表淋疾は感染後、一二ケ月を經過して全治せされば、旣に る慢性淋疾をも、治療し得る最も理想的の新薬である。

尿道内の淋菌を死滅せより 然らざれば淋疾は根本的に全治せず

の冰抹を本活するには、尿道内の淋血の

低か数分である。断くの如き療法にては、 のために直ちに外部へ流出し、其の作用は一回 は、鵄底短期間に撲滅する事は不可能である。 細胞組織内に潜在繁殖しつ」ある頑強なる掛膜 麒獅溶液を尿道内へ注入するも、 に清掃するに過ぎない。また、佐神、往入等の させるも其の作用は、尿道粘膜の表面を一時的 之に對し内服薬を服用し、尿と共に尿道を通過 死滅することが絶難的に必要である。しかるに 内容が水溶液

砂末とし、此の粉末は直ちに溶解する所の管中膜流透性に常む色素強とを、化學的に結合して原流透性に常む色素強とを、化學的に結合して 此の粉末は直ちに溶解する所の管中

徐々に洛弥、清神しつい、敷時間にわたり復國都かる部分にまで、平等に分布皆衛し歩のまま。 行は直ちに差解し、内容の朝末は尿道階膜の強い人のでは、内容の朝末は尿道階膜の強い、内容の朝末は尿道階膜の強い 奴果が奏するに到る。 治の淋疾と壁も、提來の薬品に見ずいる幾くべき 使用すれば、初感染は勿論の事。たとへ優性確 

水に中電十本人を使用すべし。悪性か或は数普通の慢性及び再鐘は、最初に短電十本人を に長盛十本人を使用して資産して、思生にわたる固集優性症は短管、よ問年にわたる固集優性症は短管、よ

T - 三時間より六時間- 「回僅か二、三分一日一本或は二本

袋盛作用抗鋼時間~——三 使用に要する時間~——二 治際に要する本數———

附

ホームスパン王國の珍娥― 一般度。女子さんの地域が展開されてゐる

朝鮮信託の

咸興進出

方の綴ざんに歌迎され継渡以来郡 で戯者な子の副業として襲撃したシ製織の作業が写らしいのとで地 るがホームスパン製織を発え込ん代が比較低によいのとホームスパン製織を発え込んで 度の女子問門生を製集中、辞遺像、領にも鎖域郡奥谷・駐在所の内地 銀過者の単毛頭では目下本年。これら参数の観さんに加はつて随

に認識してある

名の細胞が継まつてゐるほどで締

れに留ることに決定した。質励は

連轉者ご用心

ダットサン等にも

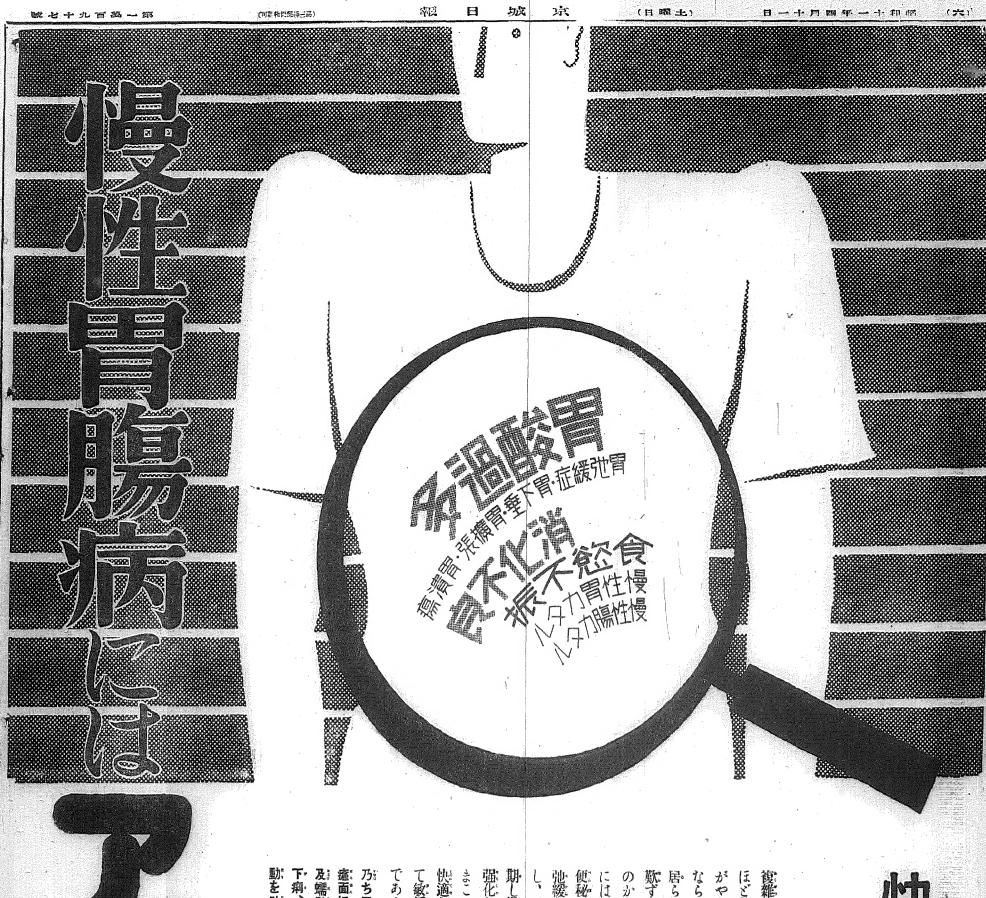
**免許證が要ります** 

1000円

渡りな進品

秦桓貿易商 元

友 京市日本機區



# いなければならないまつ 病因を精本

強化を以て治癒に導かんこする如き消極的な手段は、 期し得ないのは當然である。況して、榮養劑による胃腸組織の 弛緩を癒し、分泌及蠕動異常を整へざる限り、過剰冒酸を吸收便秘あるを思はればならない。隨つて、胃腸粘膜の炎症、糜爛ししる手 には猴骨膓カタルあり、骨弛緩症あり、骨下垂、骨擴張、下痢のか、單に骨酸過多と言ひ、消化不良と謂ふも、その症狀の陰 歎ずるまへに、何故、それら病症の原因を除去しやうこしない 居られるだらうか?「胃腸病は治り難い!再發しやす ならよろしい。だが、その次に來る骨潰瘍に、胃癌に無關心で がやけるこ言つては制酸剤を服む、それで一時を樹塗し ほど危險なものはない。胃が悪いこ言つては消化劑を服み、胸複雑な胃腸障碍の禍因をも究めないで、無批判的な薬劑の亂用 まここに迂遠と言はざるを得ない。 し、不消化物を酵素劑の補助に俟つ如き偏頗な治療法に い!」と Ö 萬全を 得る間 場合。

**がちアイフは病原、對症二重の作用を兼ね、主薬が胃腸内壁のであらう。治療薬アイフの賞用せられる所以も亦茲にある。て敏活なる治療力を發揮する合理的な薬劑にのみ期待さるべき快適な治療効果を收めんこするなら、胃腸障碍の全面に作用し** 

動を助成する。從つて痼疾の胃膓疾患をもよく好轉せしめる。下痢、嘔吐、食慾不振等諸症狀を消退して全機能の健全なる活及蠕動異常を整へる等敏活なる病原治療を営み、併て胃痛腹痛適面に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引き締め分泌乃ちアイフは病原、對症二重の作用を兼ね、主薬が胃腸内壁の乃ちアイフは病原、對症二重の作用を兼ね、主薬が胃腸内壁の

町之西谷水清區東市阪大

商 和 順 縮本賣發

第三〇〇五·〇〇五·〇〇〇五 (東) 語電 第五四三級大替総 地 雷 九 町 砂 英 區 都 本 市 京 東 京 東 高〇一〇四(川市小)話電 番八八二六京東音線 京 東 日 丁 一 週 縣 山 市 連 大 選 大 電八〇六七話電 番五六七三連大衛振

(示教) フイアはに病雨の勝さ胃 園 三 分日 セナ! 饒五十七 分日四 面 五 分日・土理帽! 韓十五郎一 分日ス (秀殿) フイア胃健はに門専病胃

4

- 八紀十六百〕銭 十 五 入紀五十七 ▶ りあに店顔名有の所る到園全 4 ンペンにまで身をやつして

際謀を喰止めた偉功、

金息基警部

京畿道の昭道會を通じて

就職や復校のうれしい話は相次ぐ

られてゐたので、局では無項を計

別放することっなった、 あた行政談習習を本外から

の調査を行ふことくなつて 酒をつける程度とし二ヶ月

あるが、昭和上一年度即ち

振興運動に

- 日午後四時三十五分京城三 1、第一日場聖成京門との記 1大福の雄阜大ラグビーチ、

理事市川館松氏(で)に渡られて十

五色の八角常は來月起了式

・れる選定である、配騰子は四年町 ・なる選定である、配騰子は四年町

(温度は第二の故郷京城に岩と法式に選を召んで融つてゐた して敬仰することになりませらの別能を育てて來た你大な人と 徳を驀つて盛んなる出迎

はじめ放手間の徳を慕つた在城内

整を納め、朝郎の守護師とする哲と

本府で來年から長期講習

中堅官更を養成

戰心快勝

概は非常にむつかしい、しかし

合たい目を向けたがる。

轉向出所し ても世の人

そのよきな関後として元道路 祭孫をやり後、水服器に

等の搬き張りは、舎ての思訳既断一歩を踏み出したので、しかも彼 への情熱を今の離場に挙げてゐる

體とんな域器を示してゐるか、今 有志の温い共鳴下に生まれた昭道 主事は削細路署長の深六治さ

滋郁動の松前重及事物質は、賦 (樹は非年度に変元と変元)の必要に迫られてある日本航空 郷であるが、ことことに至つた事の必要に迫られてある日本航空 郷であるが、ことことに至つた事時間では

俗納庫の惱み

れんで脳立して置行に移つてるる

聖林の美容師

つこり京城へ

歌を習得せWよく果敢なタップ前半1早大の爆弾的はTBの

過収聚各道では形対振興計畫をテ

六萬圓は誰れが出す

軍主川町部布品等女學校長として 特進・支部 東京市世田谷區

章記勞功察整 煎殊る語物が

・歴代中であるが誰葛鸞利。病父の状態で凝弾の水をとり頃夕で飲い香柳物所で複組凶。ので十日早前貴朴岐田所を許された四日。 に 単 八十七歳の 買えが極高に陥った

けふの天気

とた、その媼い質化感は騒つて不

行館人、プローカーはてはルンベ 不撓の努力を傾けしめた。即も

よく半島の衝災を開保し得たので

後年の形とべき計画

出所許さる

病父の許にかけつく

びれの謎

(A) (A) A (

是屋號

別科コムラ病院 部間 新聞館 高 (青物産権() 塩井醫院 學型 小材 荣三

淡京日案內

が時かる

海み

商げ

會

店 員 祭集 中国学科性圏は清波付される。 中国学科性圏は清波付される。

店

因之 全年 在時は大地流はも間 まのため他店と網は戦を顧び来す。 京城府古市町三五番地 三 澤 間 會

呈贈品供試第永越中華人混名問新此〇

型 4000 mm 400

賣賣

トゲン科紫外線小兒科

就受 職職

市本二八八〇 省

H

準セクショナル書架樂器の新案特許は是非!

料金不要

年金 特別立替

時代の要求に選み合利的抵利極磁 の要求を調利用する。 の要求を調利用する。 の要求を調利用する。 に対解を削入一四 合名質証 第 英 証 合名質証 第 五 証

日本樂器會社出暖京城府本町二丁目(咸昭本三四八五世) 疆 肵











謝果: 曽中 T B 【朝西語: 張四語

えッと……あなたはなんとか

…二人で働けば、やはり二人だけ

他次はすなほに助頭いた。併し

他天は肚の中でさら思った。

「個尤です。其の事も考へないだ

「京瀬と申しますと?」

種間他次の頭に、野上の言葉が

「私がね、あなたがたの爱の類を」て、うまうまと進げられたとあつ

| 10分(東) コピモの新聞 | 10分(東) 田郷連井 | 10分(東) | 10分(東

十二日きく物

**禁無斷上演映窗** 

(119)

**駅だけはマラドの上におろした。 上。だけど女に三千回踏み切されていたの曲部なかなかを過行たが、 てる人間です。所祭に言いません かてあの道では、相當連でとほつ** 

四月十四日

抵斷、應兒島

3

n

(全出机) 代理店 國際運輸支店 三月卅一日 

代理店

語 野口 商會 「加麗」

鎮南浦、大連、天津行 连共同 2007十二 日午 1000年 100

四月十四日 第一東洋丸 離記書四月十四日 第一東洋丸 群山岩田岩 一郎 三十九 群山岩田岩 大阪商船に出帆

威海衛、芒栗、大連行

威海衛、芝罘、大連行

何波美同汽船工品

高杉商店回漕部 合名實址尼樹汽船沿代建居

嶋谷汽船株式會社

四別港田八

代理店

常田 商會 第一大 医岬 第一大 医岬 第一大 医岬 第一大 医岬

大阪商地株式資料・「八代理品株式資料・「一番(有出)と一番(有出)と「一個(有出)」「一〇番(有出)」「一〇番(有出)」「一〇番(有出)」「一〇番(有出)」「一〇番(有出)」「一〇番(有出)」「一〇番(用出)

四月二日

昭和の常舗

金属

昭和の清蔵 宣傳の爲めの大贈賞

食地はかう言って、顔かに鑑次。ふことを知らなかつたものですか

にいあなたといふ変人があるとい

午後雪時五分 ハーモニカニ祖奈 としものと関かれるのでおった。 りますると、監奨の業団から申しを終らばら所と係らばら所がある。 我が家へ……

版も松玉即には、本戦にさいることも、自作、小作及編纂版系、象表出人間人のみなが要めるお米の版「るし、交際家から申しまして・地 〇松上郎の住宅

九日廿四日廿九日午後二時出四門 多 丸 每月四日九日十四日 馬遊戰、長端行 縣 九 每月四日九日十四日 水 年 行 田日一卷十一時出立

外に一等、二等、三等の高價なる大賞品あり

り残ら

今こそ……

必要な仁丹の御買時!

九州郵船株式會社

们川支店回漕部 朝鮮運送株式會社 東京新株式會社

電話代表番號一〇門

とばかり、助散した概正郎の言を「臨家と言った院在師でありまして 極めて極々様々の業態を示して居

吉郎 | 明いた 方だ、といつて此の一四歩が大地。ならず非常に変異があると思うましたのかいばかりの名者さっないず非常に変異があると思う。 東 祥だと云つた心静いばかりの名者さっないませんのみ、大連遺行、大幅の研修から判断してまだま。度は同じだとは申されませんのみ、大連遺行

では、根が間には、大きに、 である手で、一人声となけら、最大を占めて思るものであるからめたい機、しかし二人角となけら、最大を占めて思るものであるからめたい機、しかし二人角となけら、最大を占めて思るものであるからのある手で、一人が一個が一人、して且での生産額につきましても高のある手で、一人が一個が一人、して且での生産額につきましても高のある生産額にと思てのた。一人が一般には、一般に対していません。 一二歩の・け

日鮮海運株式會吐

六五桂は作戦であるかも知

▼二断間十九分

後金 易一郎

網は二七級迄の稲面

銀

一八歩と利かし同香と取らして、ふのに一般に用ひられてゐるのはならどうすれや良いのか、と言いいのだ

が打撃を開つたかと言ふ事は来と 新議別 女真出版 では、 ・ 「川瀬田、九州各地行 ・ 「川瀬田、九州各地行 ・ 「川瀬田、九州各地行 ・ 「川瀬田、九州各地行 ・ 「川瀬田、九州各地行 ・ 「川瀬田、九州各地行

りまして登に所懐の一端を申し述 

(y) 5 E+9.

頭のであいは?

36-408(0)

九州郵船競出帳所

粒三百メ

断骨式森間リグ (版大・京東)

塩化アルミニウムとに分解し ウムの特官作用によるものではその主成分をなす珪酸アルミ 来に開戦と中部して最々に 部に對する
胃酸の刺戟を進り 先ず胃壁の粘膜を被還保護して忠

過剰な甲酸の形成を阻止し、健酸ルミニウムは胃液分泌を抑制してルミニウムは胃液分泌を抑制して 阿本市京東 店面 衛兵新西小 證 店理代東關

液分泌を促進する缺点があります 許りでなく、後作用を伴ひ再び胃

には、治療の根本たら胃液

の過剰分泌抑制作用がない

制酸・鎮痛効果

可作当區東市區大 店商衛兵長田武 懿 元實發造製

ŧ 過 来た…重曹及その配合劑…その治療に従来用ひられて 一般に消化の惡い食物、山葵、頼なため胃酸の量が多くなる病 のみ過ぎ等に登します。胡椒等の刺戟食、酒やたばこの

珪酸は余分の酸を吸收し、塩化ア して除るに珪酸と

MOE TYPE

DRMOSA

六錠入((()錢) 六錠入((()錢)

胃痙攣、胃潰瘍 樗痛、胃カタル

宿醉等。 十二指腸潰瘍

と銀箱の効果を砂抑します。

(適應症)

液分泌過多症、胃酸過多症、胃